中桐望(なかぎりのぞみ)

岡山県に生まれ、3歳よりピアノを始める。

東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を首席で卒業。同大学院修士課程を首席で修了。

第78回日本音楽コンクール第2位。第3回ロザリオ・マルシアーノ国際ピアノコンクール第2位、併せてコンクール委嘱新曲課題曲の最優秀演奏者に贈られる Sonja Huber 賞受賞。第58回マリアカナルス国際音楽コンクール第2位・聴衆賞受賞。第7回ピアナーレ国際ピアノアカデミー&コンクール第1位。第15回グリーグ国際ピアノコンクールセミファイナリスト、併せてAAF(アーリンク・アルゲリッチ財団)賞を受賞。第8回浜松国際ピアノコンクールでは、歴代日本人最高位となる第2位を受賞し注目を集める。

2014年よりロームミュージックファンデーション奨学生としてポーランドで研鑽を積み、2015年にデビューCD『ショパン&ラフマニノフ』、2019年にセカンドアルバム『ショパンの歌』 (オクタヴィアレコード) をリリース。各年に於けるピアノ演奏会で、ショパン作品に特に優れた演奏を示したピアニストに贈られる第 42 回日本ショパン協会賞の受賞をはじめ、岡山芸術文化賞・グランプリ、福武文化奨励賞、エネルギア音楽賞など数々の賞を受賞。

これまでにピアノを内山優子、近藤邦彦、平川真理、芦田田鶴子、大野眞嗣、角野裕、エヴァ・ポブウォツカの各氏に師事。

[中桐 望 オフィシャルサイト] www.nakagirinozomi.com

片田 愛理(かただあいり)

3歳よりピアノを始める。

東京音楽大学ピアノ演奏家コース・エクセレンスを首席で卒業し、ウィーン国立音楽大学大学院を最優秀で修了。2005年第4回アルトバレフスカヤ記念青少年国際ピアノコンクール(モスクワ)第2位、及び特別賞。2006年第6回スクリャービン国際ピアノコンクール(パリ)第1位。2010年第16回ショパン国際ピアノコンクールに二次審査まで進みディプロマ取得。2011年7月カワイ表参道パウゼにてデビューリサイタルを開催、NHK-FM「名曲リサイタル」に出演。2012年3月マリア・カナルス国際音楽コンクールセミファイナリスト。2013年第5回仙台国際音楽コンクール第5位。2014年にはドイツにてカワイコンサート2014に出演し3ヶ所でリサイタルを行う。

2020 年モーツァルト国際コンクールセミファイナリスト。2021 年 第 21 回ホセ・イトゥルビ 国際ピアノコンクールファイナリスト賞受賞。2013 年度ヤマハ音楽奨学生、

Anny-Felbermayer-Fonds(ウィーン) 奨学生、2020 年度 Sylff 東京財団奨学生。

泉ひろ子、朴久玲、George Vatchnadze、石井克典、菊地麗子、野島稔、Roland Keller、 Jasminka Stančul、Anna Malikova の各氏に師事。